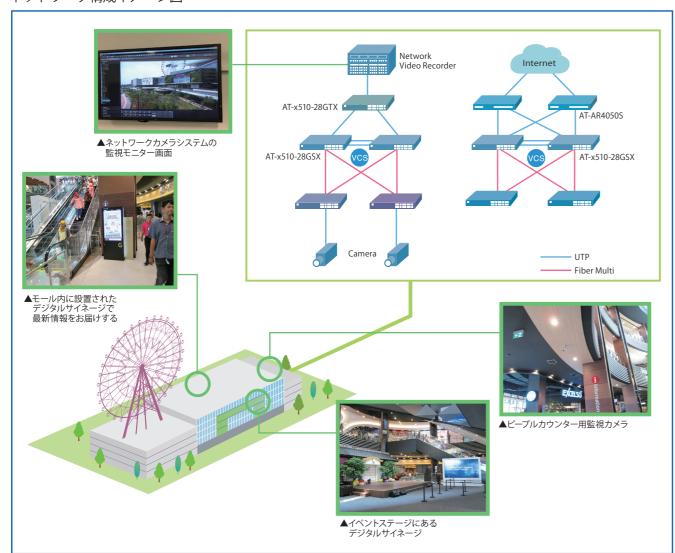
CASE STUDIES REPORT

ネットワーク構成イメージ図





PT. AEON MALL Indonesia Supervisor IT Facility Ishak Thalib 氏

お客様プロフィール

■イオンモール Jakarta Garden City

所 在 地:インドネシア共和国ジャカルチャクン

地区ジャランブールバード

敷地面積:約85,000㎡

延床面積:約165,000㎡

建 物 構 造 :地上4階、地下1階

開 店 日:2017年9月30日

従 業 員 数 :約3,000名 (うちイオンJGC店約430名)

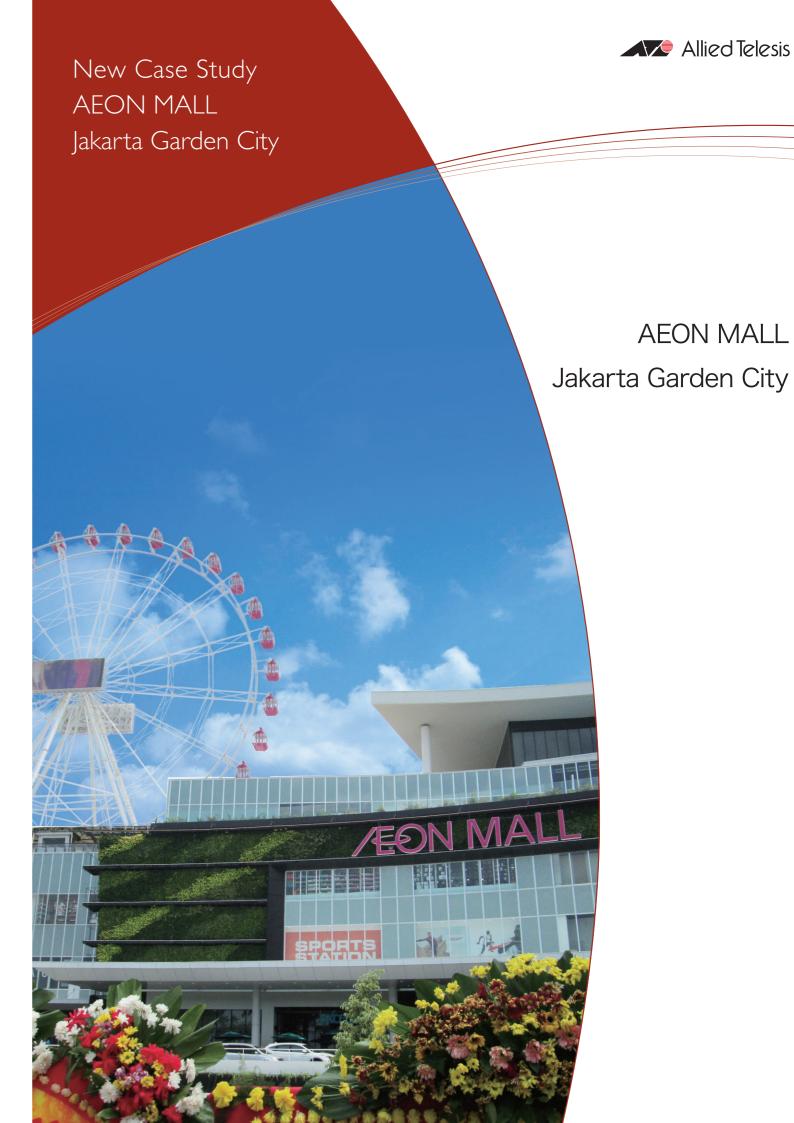
URL: http://www.aeonmall-jgc.com

ネットワーク構築などのご質問やご相談、その他のお問い合わせ

http://www.allied-telesis.co.jp/contact/

アライドテレシス株式会社 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル http://www.allied-telesis.co.jp/

●CentreCOM、SwitchBlade、Secure EnterpriseSDN、AMFramework、VCStack、EPSRing、LoopGuard、AlliedView、AT-Vista Manager、AT-VA、AT-AWC、ATI-UWC、Allied Telesis Unified Wireless Controller、EtherGRID、Net.Service/ネット・ドット・サービス、Net.Cover、Net.Monitor、Net.Assist、アライド光は、アライド光は、アライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。●その他記載の会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。●記載されている内容を許可なく使用、複製、複写、改変、加工、転載等することを禁じます。



ジャカルタの最新エンターテインメントモール、 アライドテレシスのソリューションで 安全・安心、快適なネットワークを実現

ジャカルタの「イオンモール Jakarta Garden City」は、ショッピングモール内のデータLAN、映像監視カメラネットワークをはじめとする各種ITシステムにアライドテレシス製品を導入。高信頼のネットワークを実現した。

AEON MALL Jakarta Garden City



インドネシア2号店となる 「イオンモールJakarta Garden City 」

2017年9月30日にインドネシア国内イオングループのショ ッピングモールとして2号店となる「イオンモール Jakarta Garden City」がジャカルタ市に開店した。インドネシアの 首都ジャカルタ市は、人口1,000万人を超える同国最大の都 市だ。東京23区とほぼ同じ面積のなかに約180か所ともいわ れる多数のショッピングモールがあり、同国最大の消費地 を形成している。「イオンモール Jakarta Garden City」は、 ジャカルタ中心部から東へ約20Kmに位置するジャカルチャ クン地区で総合的開発が進む「Jakarta Garden City(JGC)」 内に位置する。モールは、核店舗である総合スーパー「イオ ンIGC店」を中心に、サブ核店舗や専門店227店舗で構成さ れている。敷地面積約85,000㎡、延床面積約165,000㎡、地 上4階地下1階の構造の同店は、グランドフロアと1階に70店 舗のカフェ・レストラン、3階には約1,300席のフードコート 「グルメガーデン」を設置。東ジャカルタNo.1の食の空間を 提供している。また、地域の新たなランドマークとなって いる大観覧車を屋上に設置するほか、同国で最大級の1,800 mのアイススケートリンクや約200席のシネマなど、インド ネシアNo.1が揃うエンターテインメントモールを標榜する ショッピングモールだ。

安全・安心、快適を支えるネットワーク 基盤にアライドテレシスを採用

同モールのネットワークの構築にあたっては、映像監 視カメラネットワークをはじめ、入口・通路などで訪問客 の人数をカウントするピープルカウンターや、共用通路に 設置された30台に及ぶデジタルサイネージシステム、ビル ディングマネージメントシステム、パーキングシステムな ど、モール内のほぼすべてのITシステムにわたるため、複 数のベンダーの提案に対し慎重な検討が行われた。その結 果採用されたのがアライドテレシスの製品、サービスだ。 PT. AEON MALL IndonesiaのIT機器担当者は、採用理由 について、「製品の信頼性、コストパフォーマンス、他国の AEON MALLでの実績、ネットワーク設計などの技術支援 などを総合的に評価して選定しました | と語る。ネットワ ーク構成は、データLANシステムに、UTM&VPNルーター 「AT-AR4050S」を2台導入し冗長構成を図っている。コア・ スイッチにはギガビット・インテリジェント・スタッカブ ルスイッチ「AT-x510-28GSX」を2台導入し配下のギガビッ ト・スイッチとVCS (Virtual Chassis Stacking: バーチャル シャーシスタック) によるスタック接続とリンクアグリゲー ションで冗長化と広帯域化を図っている。VCSは複数台の スイッチを専用のスタックケーブルで接続することで、ス イッチ間でコンフィグ・ファームウェア・FDB (Forwarding DataBase)・L2/L3テーブル情報などを同期し、複数台のスイッチが仮想的に一台のスイッチとして動作する機能だ。そのため、負荷分散型冗長ネットワークをシンプルに実現できる。VCSグループの各スイッチはすべてアクティブ状態で動作するため、負荷分散とともに効率化も実現することができる。また、映像監視ネットワーク、ピープルカウンターネットワークにも「AT-x510シリーズ」を導入しており、配下のアクセス・スイッチとの間でVCS接続による冗長化を図っている。さらに、今回の導入では、製品のみならず、機器の設置設定・試験・配線などの構築作業もアライドテレシスが行っている。

高信頼の製品・ソリューション・サービスで ネットワーク基盤をトータルにサポート

ネットワークの構築は、2017年1月から開始され9月に完了。9月30日の開店初日には約11万人が訪れたという。導入後、ネットワークシステムは安定稼働しており、盛況を呈するショッピングモールの運営を支えている。今回の導入について、PT. AEON MALL Indonesiaの IT機器担当者は、「導入してから現在まで、ネットワークの問題は発生していません。アライドテレシスの製品は安定稼働しています。また、技術支援についても、IT他社ベンダーからも信頼を得ており、その点でもアライドテレシスを評価しています」と語る。また、今後の展望について、「今後、東南アジアにおいて、新規モールの構築が複数決定しており、本案件のように技術支援を含めて、アライドテレシスの協力が必要になると思います。今後もサポートをお願いします」と語る。

アライドテレシスではこれからも、東南アジアにおける イオンモールの顧客サービスを支えるネットワークを、高 信頼の製品やソリューション、サービスの提供を通じて、 積極的にサポートしていく。



▲イオンモール Jakarta Garden City 店内



▲店内のデジタルサイネージ



▲ピープルカウンター用監視カメラ

2